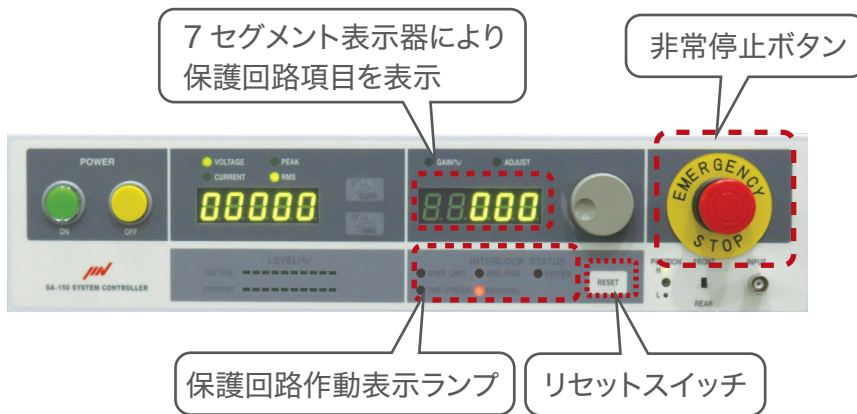


OSC.0 の原因と調査方法

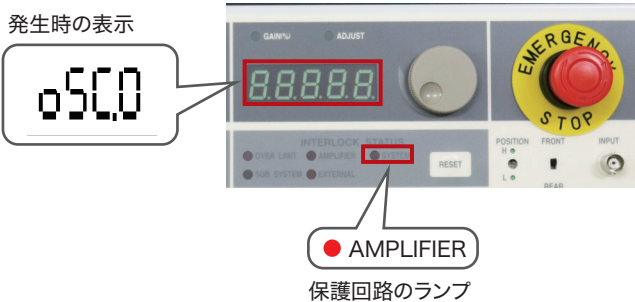
▶ 説明内容

保護回路が作動した場合、予想される原因とその処理方法

説明	保護回路が作動すると、ブザーが鳴り、電力増幅器システムコントローラ(SA-150)の保護回路作動表示ランプが点灯するとともに、7セグメント表示器により保護回路項目が表示され、装置が自動停止します。
対象シリーズ	iシリーズ / Jシリーズ / Kシリーズ



● エラーの発生原因と対処法



エラーの内容	信号入力中
発生原因	① Power Off 時、信号が入力されている ② 振動制御器の出力異常

振動制御器のアウトプット信号を出力した状態(K2 の場合『加振開始』ボタンを押した状態)でシステムコントローラ(SA-150)の [POWER-ON] スイッチを押すと、OSC.0 のエラーが発生します。

振動制御器の出力を停止させてから、システムコントローラ(SA-150)を起動し、運転可能な状態にした後、『加振開始』してください。

外部機器を使用する場合も、外部機器の出力を停止させて、システムコントローラ(SA-150)を起動してから、アウトプット信号を出力してください。

上記の手順でも OSC.0 が発生する場合、故障の可能性があります。IMV にお問い合わせください。